

メーテーは人民の血が守つてゐた

五月一日、世界の労働者が団結のシンボルとして守つてゐたメーテーを今年も迎える。わが国でも、大正九年にはじめてメーテーが举行されてから、あるいは弾圧のなかで、反戦・平和・労働者の生活を守つて斗つて來てきた。

日本社会主義運動の先駆者である荒畠寒村氏の思い出（機関紙・社説同様）によれば、日本メーテーの歴史をみてよい。【写真は昭和二六年、死亡した出した血のメーテー】

行進で一斉検挙 第一回

メーテーが行なわれる

日本で実際にメーテーのことをのが話されたのは、明治三年からですが、日本で最初の労働組合である「日本労働組合組合」が四月三日を期して労働者の集会行進をやむなく行なう案を出し、それが以後懇談会を開いていました。政府は労働者の集会を禁止しました。

明治二八年五月一日に「メーテー」の標語を掲げました。平尾社の堀利彦先生、石川三四郎君がそのときメーテーについての演説をしました。それ以来メーテーの研究をもつて、メーテーの歴史・

行為をもつて、メーテーの意義を研究してきました。日本で第一回メーテーは大正九年五月一日に、上野公園大師前にて、五千名の労働者が集まりました。

第一次世界大戦が一九一九年に

ほやほや訪問 (9)

身にしむ物価高

四山 野田忠義さん (25)

多美子さん (25)

新婚旅行はタ

クシーまさかせ

四山支部の野

械工。半年間の

恋愛のあと、

あげぱばかりの

二人を、四山社宅の新居にたずねた。

四月一日の結婚式は、忠義さん

の友人たちがみんな計画・

忠義さんは三連労組内の事務

愛好家たちで作っている「三池 もと金がござり、夏のアルプス 金への参加をめざす」と書記。

山好金(みよかねひらがな)」登山、冬の冬山登山を中心毎月の行事が組まれてます。

三池斗争後に生れた三池山好

金は現在では三池労組員以外に

七ヶ月アルプス登山をめざ

して三池山合

宿泊(ひりぎ)

忠義さんは昨秋の四山での不

運行してくねてみんなの团结で

成功したが、それから南九州へ

出發した新婚旅行はうつて変つ

て無計画。

田舎では坑内機

械工。半年間の

恋愛のあと、

あげぱばかりの

二人を、四山社宅の新居にたずねた。

四月一日の結婚式は、忠義さん

の友人たちがみんな計画・

忠義さんは三連労組内の事務

の友たちがみんな計画・

忠義さんは三連労組内の事務